

改善箇所説明図



不具合箇所 制動装置 (クラッチマスターシリンダー)



点検後、必要であれば内部洗浄、もしくはマスターシリンダーを交換

注： は、分解し、構成品を交換する部品を示す。

基準不適合発生箇所

油圧式クラッチのマスターシリンダーにおいて、加工時の内部洗浄が不適切なため、製造時に使用する化学薬品が除去できておらず、ブレーキフルードと化学薬品の混合液がマスターシリンダー内部のアルミ地と化学反応を起こし、ガスの泡が発生するものがある。そのため、発生したガスがマスターシリンダー内部に溜まった状態でクラッチ操作をすると、クラッチが切れない状態となるおそれがある。

改善の内容

全車両、クラッチシステムを点検後、必要であれば指定の洗浄液で洗浄し、新品のマスターピストンを使って組み立てる。また、マスターシリンダー内部に腐食が見られる場合はマスターシリンダーを正しく洗浄された部品と交換する。

識別

フレームネック部分に外-2370 のステッカーを貼付する。